

授業科目 運動負荷学

【担当教員名】 石黒圭応・椿淳裕	対象学年	3	対象学科	理学
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

運動負荷をする意義を理解し、その重要性和適応を習得する。その際に、起こりうるリスクを選択でき、それに対して対処できる知識・技能を修得することを目的とする。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

1. 運動負荷学を説明できる
2. 評価機器を操作でき、そのデータに基づき、説明できる。
3. 運動負荷に対するリスクを説明でき、対処できる。
4. 運動負荷の実施とリスク管理、治療方針の修正を行うことができる。
5. 機器の管理をすることができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	
1	運動負荷学について（基礎）	1	石黒圭応・椿淳裕（講義）
2	心電図の仕組み（基礎）	2	石黒圭応・椿淳裕（講義）
3	心電図の読み方：異常心電図について	2・3	石黒圭応・椿淳裕（講義）
4	12誘導心電図およびモニター心電計による導子の貼り方および実際の測定	2-5	石黒圭応・椿淳裕（実技）
5	12誘導心電図およびモニター心電計による導子の貼り方および実際の測定	2-5	石黒圭応・椿淳裕（実技）
6	呼気ガス分析器の仕組み	2	石黒圭応・椿淳裕（講義）
7	呼気ガス分析器の読み方、各種疾患の特徴	2・3	石黒圭応・椿淳裕（講義）
8	ガス分析運動負荷実験（自転車エルゴ）	2-5	石黒圭応・椿淳裕（実技）
9	ガス分析運動負荷実験（トレッドミル）	2-5	石黒圭応・椿淳裕（実技）
10	運動負荷各種プロトコルの紹介	1-3	石黒圭応・椿淳裕（講義）
11	プロトコル作成の意義	1-3	石黒圭応・椿淳裕（講義）
12	呼気ガス分析・心電図・血圧計を用いた総合的運動負荷について（その1）	1-4	石黒圭応・椿淳裕（講義）
13	呼気ガス分析・心電図・血圧計を用いた総合的運動負荷について（その2）	1-4	石黒圭応・椿淳裕（講義）
14	総合運動負荷テストの実践	1-5	石黒圭応・椿淳裕（実技）
15	期末テスト		石黒圭応・椿淳裕

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	心肺運動負荷テストと運動療法：谷口興一，伊藤春樹：南江堂：2004			
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 期末試験，出席日数，授業貢献度，などを通して総合的に判断する。	【履修上の留意点】 授業に対して受身にならず積極的に参加し，質問してほしい。
---	---